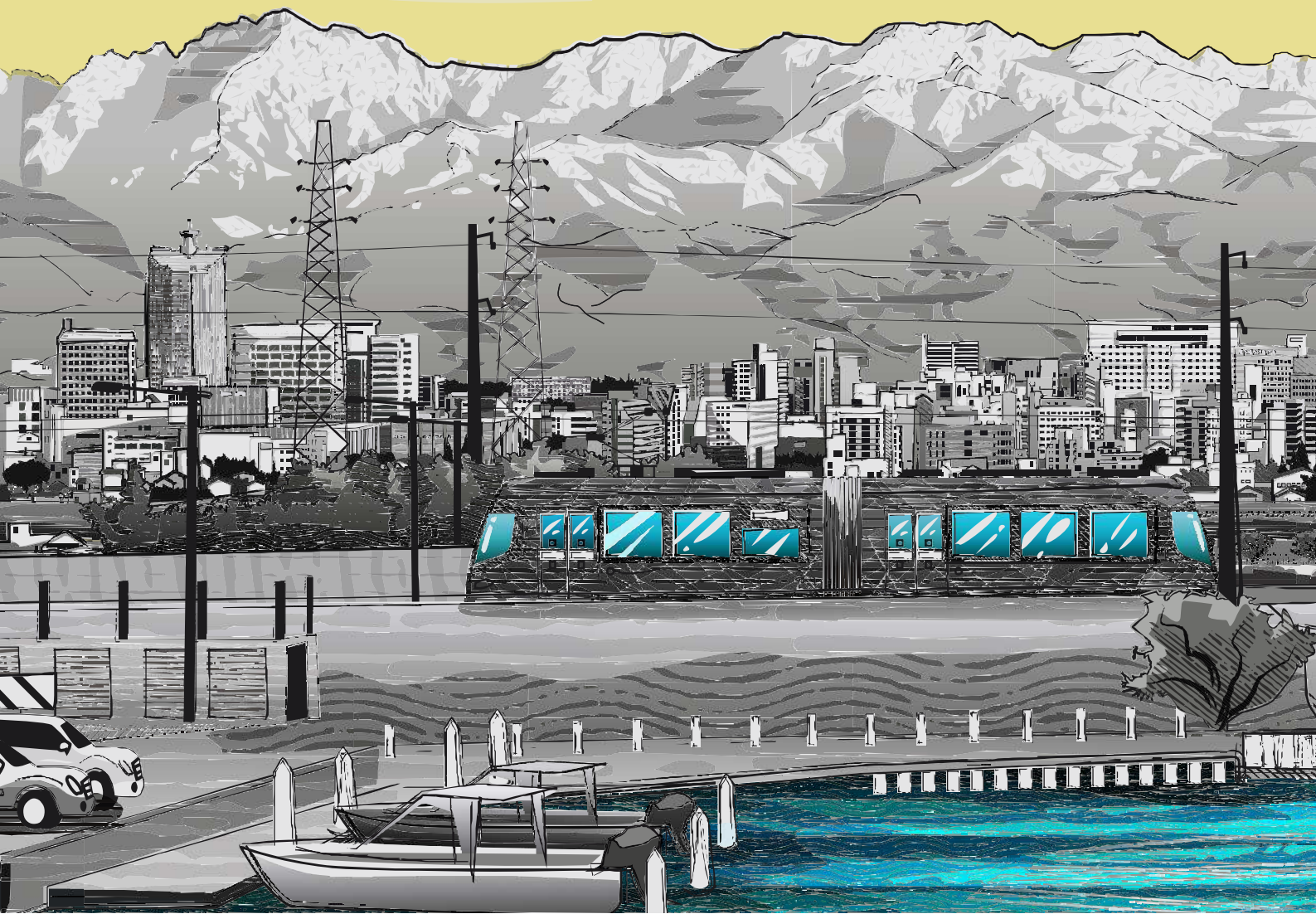


第8章

おわりに



結論と主な論点

富山市の開発モデルは、高齢化社会の様々な問題に取り組んでいる国内外の多くの中規模都市にとって有益な先例となる可能性がある。日本の多くの都市は、主に高齢化と人口減少により生じる市財政の硬直化に直面している。それは富山市も例外ではない。森市長はまちづくりのビジョンの共有に成功し、そして、これらの問題に対処する戦略の確立を先導した。富山市は市中心部に活気を生み出し、よりよい公共交通の接続性の構築、高齢者にやさしいサービスの提供に焦点を合わせることで、これらの問題を克服した。

そのような取組を進めてきたことにより、富山市民の誰もがふるさと富山に愛着と誇りを持てるよう、市民の生活の質を高めた。以下に、富山市を成功に導いた要因についてまとめる。

包括的なコンパクトシティ政策 ～空間的な問題への対処を超えて～

富山市のコンパクトシティ政策は、人口動態や財政面の課題に対応する包括的アプローチを実証するものであり、国内だけでなく海外の都市にも適用できる余地が大きい。コンパクトシティ政策自体はゴールではなく、手段である。高齢化社会において経済効率の高い方法でインフラ整備を進める手段であり、ある意味で福祉政策でもあり、世代を超えた一体感の醸成に関する問題でもある。分野をまたぐ問題を一つにまとめることであり、空間的な開発にとどまらない。

ビジョンとシニアリーダーシップ

計画やイニシアチブの策定と実施において、強力なリーダーシップは富山市にとって極めて重要であった。森市長とそのチームは、市民、民間セクター、行政の間でパートナーシップを形成し支援を獲得するために必要な積極的姿勢を示した。

革新的な考え方

富山は、東京と大阪という日本の二大経済圏のいずれからも遠く、地理上不利であるように思われるが、実際のところ、このために長年にわたる革新的な文化が育ったといえる。本報告書では、国、民間セクター、学術機関との協力など様々な革新的プロジェクトやイニシアチブを紹介している。また、富山市の国際的な「開放性」が数々の国際的なパートナーシップやコラボレーションの構築を促し、イノベーションの促進や投資の誘致に役立っている。

都市計画と開発におけるステークホルダーとの強力なパートナーシップ

地元企業や市民による実践的関与は、富山市の都市開発の重要な側面である。本報告書では、富山市が公共セクター、企業、学術機関、市民との有意義な関与と強力なパートナーシップを最大限に活かした様々なプロジェクトとイニシアチブを紹介した。地元企業や地域社会と市長の情熱、CROの取組は、市民との結び付きを作る一つの重要な推進要因である。

市は、明確かつ実践的なメッセージに焦点を当てるとともに、行動計画を常に施策展開の中心に据え、短期的な進捗状況とより大きなイメージの双方を市民が理解できるようにした。

一つの政策で複数のメリットを実現

富山市の都市開発計画の本質としては、一つの政策で複数のメリットを実現することを追求していることである。政策介入のそれぞれが複数のメリットを伴うよう入念に配慮されている。例えば、公共交通の活性化により温室効果ガス排出量の削減、高齢者のアクセス性向上、公共交通機関の乗客数増加、中心業務地区の活性化、市の予算節減、観光業の振興を実現している。

ソフトパワーによる縦割り(サイロ)の打破

本報告書ではまた、未来戦略室を中心とした富山市独自の統合された計画モデルを紹介した。これは、部局間の縦割り(サイロ)意識の改善を促している。

市は、強力な権限を持つ組織を作って各部署をまとめようとするのではなく、部局間のチャンネルを結び付ける非常に「ソフト」だが効果的なアプローチを適用した。CROと未来戦略室は、目標や部局横断の仕組みを提供するなど、戦略的かつ総合的な問題を完全にカバーするための要となっている。

地域社会の絆の育成

富山市の都市開発モデルには、地域社会の絆、特に高齢化社会を背景とした世代間の絆を促進し育成する様々なイニシアチブが含まれている。市民に焦点を当てたアプローチも市のレジリエンス計画の中核を成すものである。

富山市と世界銀行のパートナーシップ

都市パートナーシップ・プログラムの背景:日本には、世界中の都市が直面している様々な開発課題に対し、独自の解決策を模索した世界トップレベルの事例を有する都市が数多く存在する。世界銀行は、東京開発ラーニングセンター (TDLC) を通じて知識を共有するため、日本政府と連携して都市パートナーシップ・プログラム (CPP: City Partnership Program) を導入した。これは、知見提供国の複数の地方自治体に直接関わる最初の主要なイニシアチブの一つであり、日本の専門知識を途上国のプロジェクトレベルの取組に結び付ける機会の発掘を目指し、日本の選定都市との共同研究、グッド・プラクティス (優れた実践) の発掘、知識共有を行うものである。

富山市と都市パートナーシップ・プログラム:2016年7月、関心表明の募集に続き、世界銀行の技術専門官と日本の関連機関で構成される審査委員会の選考を経て、富山市、北九州市、神戸市、横浜市が新プログラム初の選定都市に指定された。世界銀行と地方自治体は、各都市について、世界銀行のクライアント・シティの要望に合致するテーマ別の知見や解決分野を特定した。CPPに関して富山市の主なテーマ領域は、(a)コンパクトシティ、(b)災害リスク管理、(c)高齢化とアクセシビリティ、(d)廃棄物管理である。

覚書:その後の2016年11月、世界銀行と富山市は、共同調査の実施、グッド・プラクティスの発掘、知識の共有、そして、日本の専門知識を発展途上国のプロジェクトレベルでの取組に結び付ける機会の特定に向けた協力関係強化のための覚書 (MOU) に署名し、協力計画を発表した。



Photo 0.1 覚書 (MOU) への署名

出典:世界銀行グループ

MOUに基づき、世界銀行と富山市は共同研究や知識の提供、学習活動を通じて、様々な開発の課題とソリューションに関する経験と教訓を文書化する。また、世界銀行や協力者は、富山市やその関連機関からの実践的な「how to」体験を収集し文書化して、ナレッジノート、ツールキット、グッドプラクティスガイド、ビデオなどを作成する。

知識交換イベント:富山市と世界銀行との最初のイベントの一つは、2016年10月30日～11月4日に共同開催された、「コンパクトで暮らしやすいまち」に関するテクニカル・ディープ・ダイブ(TDD)とレジリエント・シティサミットである。ここでは、コンパクトシティについて議論し、政策決定を探り、介入の成功例について紹介した。TDDは、ワークショップ、現地訪問、ピア・ツー・ピア知識共有、行動計画作成などを盛り込んだ知識交換の革新的アプローチであり、特定の問題に関する世界銀行の資金提供プロジェクトの開発促進を目指している。

東京と富山市で5日間にわたり集中的に行われた「コンパクトで暮らしやすいまち」に関するTDDは、国、富山市、ロックフェラー財団、シンガポールの「暮らしやすい都市センター」(CLC)、経済協力開発機構(OECD)、ニューヨーク大学の協力で行われた。

市や各省庁の職員、世界12都市の代表団や世界銀行の都市交通タスクチームリーダーなど55名以上の参加者と日本内外の専門家が集まり、コンパクトシティの開発に関する議論、政策決定の模索、コンパクトシティ政策へのアプローチの効果的な実施に関するグッド・プラクティスの共有を行った。



Photo 0.2 富山市における世界銀行のテクニカル・ディープ・ダイブ(TDD)

出典:富山市

ピア・ツー・ピア学習セッションや専門的なプレゼンテーションなど、TDDの一部は富山市で行われた。当イベント中に前述の覚書も署名された。また、TDDに参加した代表団は100のレジリエント・シティが共同開催した富山市のレジリエント・シティサミットにも参加し、富山市エコタウン産業団地をはじめとする市内のスタディツアーに同行した。

なお、世界銀行と富山市の連携は互恵的な関係であり、富山市の代表者や技術者は知識共有のために他の都市を訪れることができる。特に富山市は、世界銀行の都市開発とレジリエンスに関する豊かな専門知識を利用することができる。

巻末脚注、参考文献

- 1 国際連合、The World's Cities in 2018 – Booklet（国際連合、国際連合経済社会局、人口部、ニューヨーク、2018）
- 2 国際連合、The World's Cities in 2018 Booklet（国際連合、国際連合経済社会局、人口部、ニューヨーク、2018）
- 3 富山市、富山市人口ビジョン、2020
- 4 富山市、富山市人口ビジョン、2020
- 5 富山市、富山戦災復興誌、1972
- 6 富山市、富山戦災復興誌、1972
- 7 国際連合による定義では、65歳以上の人口の割合が20%を超える都市は「超高齢」社会である。
“Approach Paper: World Bank Support to Aging Countries”（世界銀行独立評価グループ、2019.5.28）参照。
- 8 世界保健機関、“Physical Activity and Older Adults”、Global Strategy on Diet, Physical Activity and Health website（2020）
https://www.who.int/dietphysicalactivity/factsheet_olderadults/en より引用
- 9 2020年に実施した富山市職員へのインタビュー内容に基づく
- 10 富山市、コンパクトシティ戦略による富山型都市経営の構築、2020
- 11 2020年に実施した富山市職員へのインタビュー内容に基づく
- 12 2017年に実施した富山市職員へのインタビュー内容に基づく